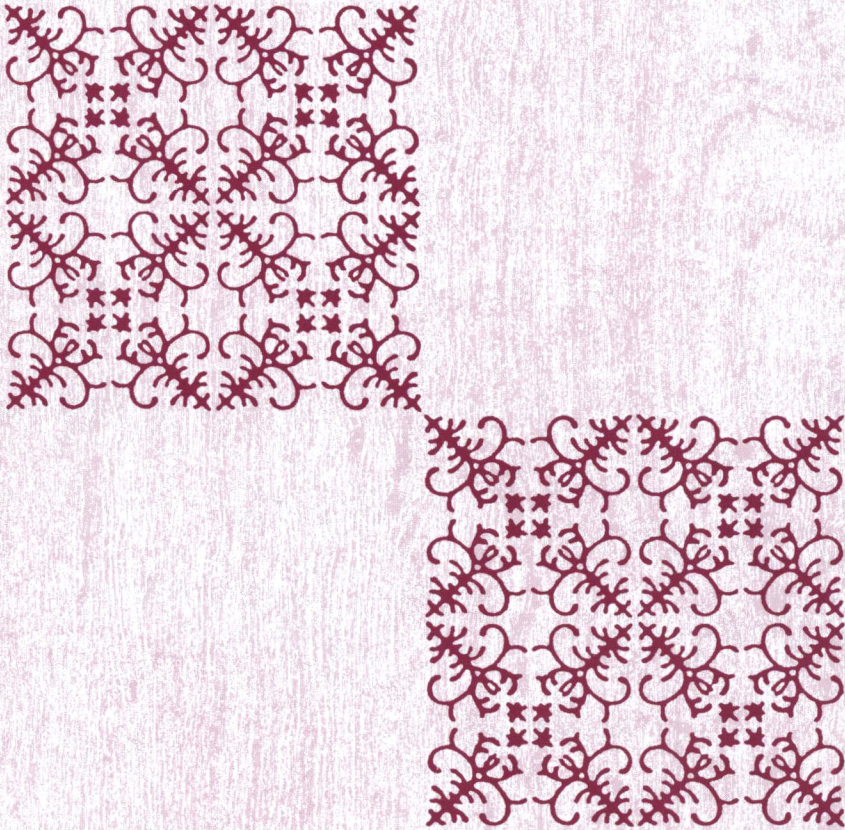


PRO MUSICA NIPPONIA

日本音楽集団

第138回定期演奏会



1995年5月25日(木) 6:30開演
津田ホール

■主催 日本音楽集団
〒151 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302
TEL 03-3378-4741
FAX 03-3376-2033

■制作協力 奈良音楽事務所
■助成 アサヒビール芸術文化財団

プログラム

1. シンフォニエッタ・ルラーレ (1992年) 上野耕路 作曲

[笛] 西原 貴子 [尺八] I = 藤崎 重康 II = 添川 浩史 III = 米澤 浩
[三味線] 工藤 哲子 [琵琶] 石田 さえ
[箏] I = 熊沢栄利子 II = 桜井 智永 III = 山田 明美
[十七絃] 大島菜穂子・城ヶ崎美保
[打楽器] I = 立枝 恵子 II = 杉浦 邦雄
[指揮] 田村 拓男

2. 青少年のための〈音楽図鑑Ⅰ〉「風物語」(委嘱・初演) まえだ純 作・服部公一 作曲

[歌] 亀田真由美 (客演)
[笛] 竹井 誠 [尺八] I = 三橋 貴風 II = 藤崎 重康
[三味線] 細棹 = 簗田 司郎 太棹 = 工藤 哲子 [琵琶] 田原 順子
[箏] I = 花房はるえ II = 木村 玲子 [十七絃] 宮越 圭子
[打楽器] I = 黒坂 昇 II = 杉浦 邦雄
[指揮] 田村 拓男

— 休 憩 —

3. 七重 (1988年) 西村 朗 作曲

[二十絃箏独奏] 吉村 七重

4. 竹取物語より「竜女の玉」(1976年) 海津勝一郎 作・長沢勝俊 作曲

[語り] 稲垣 隆史 (客演)
[笛] 竹井 誠 [笙] 西原 貴子 [ひちりき] 西原 祐二
[尺八] I = 藤崎 重康 II = 添川 浩史 III = 米澤 浩
[三味線] 細棹 = 簗田 司郎 太棹 = 工藤 哲子 [琵琶] 石田 さえ
[箏] 花房はるえ [二十絃箏] 木村 玲子 [十七絃] 宮越 圭子
[打楽器] I = 西川 啓光 II = 杉浦 邦雄 III = 黒坂 昇 IV = 立枝 恵子
[指揮] 田村 拓男

客演プロフィール



稲垣 隆史

幼い頃より音楽家を志し、ピアノを豊増昇氏、作曲を池内友次郎氏に師事。その後演劇に転向、俳優座養成所を経て劇団「民芸」に入団。代表作に「終末の刻」の山田右衛門、「炎の人ゴッホ」のロートレック、「第二次大戦のシュベーク」のヒトラー、「どん底」の役者等。又琵琶の半田淳子氏と組んで一人語り「雨月物語」を十余年に亘って公演し続けている。



亀田真由美

東京芸術大学別科及び洗足学園大学に学ぶ。奥村淑子、中村浩子、中山梯一の諸氏に師事。個性的なコロラトゥーラソプラノとして「魔笛」の夜の女王、「ポントの王ミトリダーテ」、「金閣寺」等を歌っている。ウィーン・ローマ・モスクワ・南米諸国等海外都市でもコンサートに出演。リサイタルでは新作の発表等を意欲的に手掛けている。

シンフォニエッタ・ルラーレ

サブカルチャー以降、欧米のスノビズムと化した括弧付きの東洋思想…その寸法に合わせた日本人の作品…日本において、欧米の流行を味方に付けることが、好評の保証なのであれば、私はそうした作品は書かない。

このタイトルの「田舎風」というのは、欧米のスノビズム足り得ない、日本人の意識の辺境性を指しているのであって、聞き取り易いリズム、メロディ、東洋的造形の音楽時間的アナロジーの拒絶との関係は、恣意的だ。

さて、最近流行のポピュラー的喉ごしの良さへの無条件降伏は、私には耐え難い。運悪く私の作家イメージは、その範疇のようだ。この作品を聞いて未だそう思われるとしたら…多分そうに違いない…私はとても不幸だ。(上野耕路)

青少年のための〈音楽図鑑Ⅰ〉「風 物語」

この作品を書くに当たって「日本的な音」を選ぶか「西洋調の音」を基礎にするかだいぶ迷った。しかし途中でヨハン・シュトラウスの「春の声」がシナリオに指定されていることでもあり、コロラチュラ・ソプラノを入れた後でいくことにしたのである。また、日本音楽集団がしばしば西洋諸国公演を行うのの一つくらいあちらの聴衆の耳になじんだ作品があってもよからう（この作品を将来英語に翻訳しようと考えている…）と思ったこともあった。音の嗜好は食べ物のそれについて保守的であり、己の伝統に固執し、他の文化の音では決してくつろがないところがある。この作品はそもそも子ども向けのものであり、リラックスをむねとする。アドリブで技法を追加し亀田さんとの掛け合いを楽しんでほしい…。この作品などは日本音楽集団の皆さんにとって自家薬籠中のものであろう。私は客席の一隅に身を沈め期待に胸をふくらませている。(服部公一)

七 重

「七重」は、'88年の吉村七重さんのリサイタルのために作曲したもので、'82年の「タクシム」以来の、私の2作目の二十絃独奏曲。この「七重」のタイトルは、作曲にあたって、この曲の調絃の仕組みを思いついた時に、ただちに思い浮んだ。その仕組みとは、二十一本の絃のうち、第四絃から第十一絃までの七つの絃と、第十一絃から第十七絃までの七つの絃を、全く同じ高さの同じ七音階が並列するように調絃するというもので、それによって同じ高さの音に調絃された絃が七組できることになる。重なっている音が七つある、したがって「七重」。この調絃の仕組みについては、舞台上の箏をごらんになればすぐ理解されることと思う。

七つの音の重なりにより、独奏曲でありながらも、二重奏のような印象を生むことができ、また同音の重ねや、反復においても特殊な効果が得られるのではと考えた。

七重さんによれば、非常に体力、集中力が必要な曲で、ことに高度な演奏技巧による速いパッセージがつづく最後の部分は、ぎりぎりまで力を出しつくさねばならない難所とのこと。しかし彼女はこれをレパートリーに加えて下さり、曲は内外で再演が重ねられている。

(1990年吉村七重リサイタルプログラムより)

竹取物語より「竜女の玉」

この曲は、わが国最古の古典といわれている物語を、国文学に造詣の深い海津勝一郎さんが大胆に脚色した、かなしくも美しい物語です。各楽器にそれぞれの人物をあてはめ（かぐや姫は二十絃箏、少将の君は篠笛、竜女は琵琶等）楽器と語りの掛け合いの中で両者の有機的なむすびつきを目指した作品です。特に二十絃箏はかぐや姫の分身として、語りとともに主役をつとめることになります。

1976年7月のコンサートシリーズNo.35の初演以来、数回の公演をかさね、東京においては今回で6回目をむかえることになりました。語りには今回もまた劇団民芸の稲垣さんをお願いしました。舞台上で数多くの役をこなしてこられた稲垣さんの名調子と、集団のアンサンブルとの立体的な舞台をお楽しみ頂きたいと思っております。(長沢勝俊)

11月10日(木)	題名のない音楽会収録	テレビ朝日
11月18日(金)	大垣市立南中学校音楽鑑賞会	
11月27日(日)	尾北おやこ劇場	江南市民会館
12月16日(金)	山梨巨摩子ども劇場	白根桃源文化会館
12月17日(土)	東村山子ども劇場	東村山中央公民館ホール
12月20日(火)	千葉市立こてはし台小学校鑑賞会	
12月22日(日)	八王子子ども劇場	八王子市芸術文化会館
1995年		
1月19日(木)・20日(金)	北信越こども劇場	金沢市文教会館
1月22日(日)	芳賀町公演(栃木県)	芳賀町民会館
1月27日(金)	第137回定期演奏会 第6回邦楽器の祭典(共催=(社)日本作曲家協議会)	津田ホール
2月5日(日)	日本音楽集団演奏会	愛媛生涯学習センター
2月10日(金)	関市中学校音楽鑑賞会	関市文化会館
3月2日(木)	竹取物語～日本の調べと語りへのせ	かつしかシンフォニーヒルズ
3月4日(土)	第3回戸塚区芸術鑑賞事業「日本音楽集団演奏会」	東戸塚教育センターホール
3月19日(日)	倉敷音楽祭	倉敷芸術文化会館
3月29日(水)	九州沖繩子ども劇場音楽フェスティバル	熊本県立劇場
5月1日(月)	東京都立狛江高校音楽鑑賞会	新宿文化センター
5月25日(木)	日本音楽集団第138回定期演奏会	津田ホール
5月28日(日)	多治見公演	多治見市文化会館
6月3日(土)	千葉県立大多喜高校芸術鑑賞会	大原町文化センター
6月8日(木)	南与公演	愛媛県日吉村文化センター
6月9日(金)	//	愛媛県津島町津島中学校
6月8日(木)	フォレックス95	大阪ロイヤルホテル
6月17日(土)	青梅子ども劇場	青梅市民会館
6月19日(月)～23日(金)	長崎学校巡回公演A	
6月24日(土)	足立子ども劇場	ギャラクシティーホール
6月26日(月)～28日(水)	長崎学校巡回公演B	
6月30日(金)	世田谷子ども劇場協議会	砧区民会館ホール
7月2日(土)	むさしのなかよし子ども劇場	武蔵野市民文化会館小ホール
7月10日(月)	大田南子ども劇場	大田区民プラザ
7月13日(木)	東京都立国際高校音楽鑑賞会	目黒区公会堂
7月14日(金)	ねりま東子ども劇場	練馬文化センター小ホール
7月15日(土)	入間郡大井町公演	
7月19日(水)	立川女子高校音楽鑑賞会	立川市民会館
7月19日(水)	小平子ども劇場	ルネこだいら中ホール
8月3日(木)	第139回定期演奏会～人と平和のために(終戦50周年記念特集) ～三木稔作品による	津田ホール
8月11日(金)	新潟公演	新潟市音楽文化ホール

第139回定期演奏会プログラム(グローバル・ピース・ジャパンコンサート協賛公演)

客演 宇佐美瑠璃(ソプラノ) クロスロード・シンガーズ(合唱指揮 辻正行)

- 一、くるだんど ～奄美の旋律によるカンタータ～(1963年)
- 二、喜怒哀楽(1974年)
- 三、黄の鐘(1992年委嘱作品-改訂初演)

名譽代表 長沢 勝俊

代 表 田村 拓男

副代表 尾崎 太一

運営委員長 米澤 浩

事務局 霜島 素子

監 事 奈良 義寛 (参与)

芹沢 英雄

名譽団員 山田美喜子

坂井 敏子

白根きの子

〈正団員〉

西川 浩平 (笛)

西原 貴子 (笛)

西原 祐二 (ヒチリキ・笙)

宮田耕八朗 (尺八)

坂田 誠山 (尺八)

三橋 貴風 (尺八)

藤崎 重康 (尺八・笛)

竹井 誠 (尺八・笛) 運

米澤 浩 (尺八) 運

水川 寿也 (尺八) 運

水谷 雅康 (尺八) 運

石川 浩史 (尺八) 運

畦地 忠史 (尺八)

畦地 慶司 (胡弓・作曲)

野口美恵子 (三味線)

太田 幸子 (三味線) 運

箕田 司郎 (三味線) 運

田中悠美子 (三味線)

工藤 哲子 (三味線)

坂口 美香 (三味線)

田原 順子 (琵琶)

山田まゆみ (琵琶)

石田 さえ (琵琶)

吉村 七重 (箏)

花房はるえ (箏・三味線)

宮越 圭子 (箏) 運

木村 玲子 (箏)

熊沢栄利子 (箏)

大島菜穂子 (箏)

桜井 智永 (箏)

山田 明美 (箏)

島崎 春美 (箏)

久東 寿子 (箏)

佐藤 里美 (箏)

大泉 一美 (箏)

城ヶ崎美保 (箏)

尾崎 太一 (打楽器)

西川 啓光 (打楽器)

高橋 明邦 (打楽器・指揮)

黒坂 昇 (打楽器)

仙道新太郎 (打楽器) 運

望月太喜之丞 (打楽器)

白杵美智代 (打楽器)

田村 拓男 (指揮・打楽器)

稲田 康 (指揮)

長沢 勝俊 (作曲)

秋岸 寛久 (作曲)

中島 隆 (楽器・舞台)

〈準団員〉

越智 成人 (笛)

加藤 秀和 (尺八)

在原富士江 (三味線)

山崎千鶴子 (三味線)

中山さち子 (三味線)

高橋はるな (箏)

安武由香理 (箏)

中垣 雅葉 (箏)

立枝 恵子 (打楽器)

杉浦 邦雄 (打楽器)

佐藤 容子 (作曲)

協力団員 伊藤 惣一

地方在住団員 田嶋恵美子

一九九五年四月一日現在

〔本年度委員〕

運印 運営委員

〈団友〉

青木 誠

秋浜 悟史

荒谷 俊治

稲垣 隆史

小田切清光

川崎絵都夫

川崎 祥悦

菊地 悌子

楠 知子

鞍掛 昭二

鯉沼 広行

坂田 進一

佐藤 敏直

芝 祐靖

清水 義矩

杉浦 弘和

砂崎 知子

芹沢 英雄

高野 文子

田嶋 直士

田中 利光

鶴野 和子

戸井 昌造

藤舎 呂悦

藤舎 呂船

仲俣申喜男

半田 淳子

広瀬 量平

福田 輝久

鳳声 晴由

星 旭

増田 睦実

三木 稔

宮本 幸子

望月 太八

元橋 康男

矢崎 明子

柳家小三治

横山 勝也

ダイヴィッド・ロープ

デイヴィッド・ヒューズ

ヘンリー・パーネット

ラニー・シエルダン

王 燕樵

張 曉輝

〈日本音楽協会支部〉

関西支部

田嶋直士

TEL

水戸支部

斉藤幸山

TEL

長野支部

佐藤幸宇山

TEL

山梨支部

郷晃

TEL

長崎支部

牧山雅楽部

TEL

熊本支部

古川羽衣山

TEL

秋山支部

野口裕子

TEL

TEL

TEL

TEL

TEL

TEL

TEL

TEL

TEL

TEL

邦楽の会つばら事務局

箏

二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、楽器の本質を追求した箏

日本音楽集団推薦

琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL(3792)8481 FAX(3792)8437



アイ・エム・エス ● 楽器リース ● 保管 ● 移動 ● ステージ・スタッフ派遣

〒167 東京都杉並区上荻 2-3-4

ゆうてんビル

PHONE. 03-3397-2292

FAX. 03-3397-7728